

第 315 回 エフエム石川放送番組審議会議事録

令和 4 年 6 月 7 日

株式会社エフエム石川

第 315 回エフエム石川放送番組審議会

1. 開催年月日・開催場所

2022年6月1日(水) 午後2時～午後3時
香林坊ラモーダ 9階 金沢学院大学香林坊ラモーダ教室
(金沢市香林坊2丁目4番30号)

2. 委員の出席

総委員数 7名
出席委員数 6名

出席委員の氏名(50音順)

委員長 : 柳澤良一
委員 : 金井辰樹、工藤彩子、久保 勉、平木孝志、宮川昌江

3. 議題

業務概要の報告
番組試聴と質疑・意見交換

議事内容

[業務概要の報告]

放送では、4月22日のアースデイに「JFN EARTHDAY SPECIAL 2022 To the Future From INI」、4月24日には第37回目の放送となる「村上 RADIO ～和田誠レコード・コレクションより @The Haruki Murakami Library～」、5月5日には『JFN Special Life Time Audio 2022～My First Music～「14歳のプレイリスト」』として2時間の特別番組を放送したことが報告されました。「JFN Special Life Time Audio 2022」は、5月5日の子どもの日に、若い世代が本物の音楽と出会える番組としてJFN38局フルネットで放送しました。

イベントでは、5月28日と29日に今期初のクリーン・ビーチいしかわの活動を実施したことが報告されました。参加者約1,200名が、白山市の徳光海岸と金沢市の健民海浜公園で海岸清掃を行いました。また、5月29日に香林坊ラモーダ3階のまちなかスタジオで22名のリスナーを招き「健康UP! ACADEMY～歩くチカラをプレゼント～」を開催したことも報告されました。「歩き方」について考えたイベントで、実際に参加者の歩き方をAIで分析しました。この模様は6月10日のFlyin' Popで放送されます。

[番組の試聴と質疑・意見交換]

【試聴番組】

番組タイトル：SING LIKE TALKING 佐藤竹善のアンダンテ

放送日時：2022年4月29日(金)、5月6日(金) 18:30～18:55

出演：佐藤竹善(SING LIKE TALKING)

木村雅幸(エフエム石川パーソナリティ)

【番組内容】

SING LIKE TALKING のボーカル佐藤竹善さんが、長い音楽キャリアの中で出会った仲間がゲスト出演し、軽快なトークをくり広げる番組です。試聴番組は、4月2日に香林坊ラモーダまちなかスタジオで、エフエム石川開局32周年と香林坊ラモーダ移転を記念して公開収録したものです。本社パーソナリティ木村雅幸がゲスト出演し、スタジオ内で招待リスナー30名が生演奏を交えた収録を楽しみました。公開収録には全国から200名を超える応募がありましたが、新型コロナまん延防止のため事前抽選により30名限定としました。番組は全国32局のFM局で放送されました。収録の様子は、まちなかスタジオを共有する金沢ケーブルが撮影し、ケーブルテレビで放送します。

■工藤彩子委員

番組内で佐藤さんが木村アナウンサーを「木村」と呼び捨てで呼ぶのが新鮮で面白かったです。4月29日の回は木村さんの話を深掘りすることによって石川県について詳しく説明出来ていました。県外の方はもちろん、地元のリスナーにも発見があったのではないかと思います。また、普段の番組の木村さんの雰囲気とは違う少年のようなワクワクした感情が溢れていて、この番組への愛や熱量を感じる事が出来ました。選ばれた30人のリスナーたちは、この場所に集まることの出来たプレミア感があったのではないかと思います。5月6日の回では、木村さんならではの金沢のスポット紹介で卯辰山を紹介したのは新鮮でした。参加者からの質問コーナーでは佐藤さんのトークスキルの高さが伝わってきましたし、最後に行われたスタジオでの生ライブはレコードやCDを聴いているようなクオリティでした。全体としては、エフエム石川の宣伝になった良い放送だったと思います。

■金井辰樹委員

リスナーとの双方向性を高めていく取り組みという点で貴重な番組だったと感じました。32周年で32局ネットならば、招待する人も32人にしたほうが良かったのではないかと思います。コロナ禍で仕方がない部分も多いが、せつかくの公開収録参加なので参加リスナーの存在をもっと感じられる放送になれば良かったです。今回は拍手だけの参加だったので、笑い声が少しでも入っていたり、質問コーナーであらかじめ本人の声を収録しておいたりすればより双方向性が高まると思います。石川県民が聞いても心地よく、県外の方が聞いても情報が盛り沢山で楽しめる番組ではないでしょうか。

■久保勉委員

コロナ禍ということもあり、公開収録の臨場感が足りないように感じましたが、回数を重ねれば良くなっていくと思いました。生演奏の途中で番組を終了するのは勿体ないと感じました。この番組に限らず、ラジオの公開収録が街中の活性化に繋がればと思います。

■宮川昌江委員

佐藤さんは全体を通してトークがとても上手でした。メリハリの付け方も素晴らしかったです。この番組を通してエフエム石川が移転したことを周知することが出来たのではないかと思います。また、金沢ケーブルと一体となることで放送の広がりを期待出来たリスナーも多かったのではないかと思います。

佐藤さんの金沢への思いが伝わってきましたし、なにより木村さんの金沢についての話がとても良かったです。他の地域の方に金沢へ行ってみたいと思ってもらえたのではないのでしょうか。お二方の会話は聞いていてとても楽しかったです。

■平木孝志委員

この番組は私には伝わらなかったです。一つは、この2人が見えてこなかったからです。また折角の公開収録だったのに参加しているリスナーの存在が拍手以外感じられなかったのは寂しかったです。32局にネットするのであれば、もっと深掘りしてわかりやすく金沢を伝えて欲しかったです。卯辰山や片町、香林坊のことを話しても、知らない人には伝わらないと思いました。「木村」と呼び捨てにしたのも良くなかったと思います。

■柳澤良一委員長

佐藤さんがエフエム石川に育てられたと言っていました、その通りだと感じました。特別な金沢という地で佐藤さんに会えるというファンの喜びは大きかったと思うので、もっと生歌を聞きたかったです。佐藤さんの持ち番組に木村さんを迎えているという点で、エフエム石川を前面に出すことは難しかったと思います。しかし、その制約の中で精一杯宣伝出来た方だと感じました。

全体の意見として、エフエム石川や金沢の良い宣伝になった。一方でコロナ禍でのラジオの公開収録は難しいと感じました。参加者の反応が見えづらかったと思います。という意見が多かったです。

[議事の概要を公表する場合の日時や内容]

第315回番組審議会の議事概要の公表

令和4年6月18日(土) 19:55-20:00に放送

掲載書面の備え置き、及びインターネット・ホームページへの掲載